

阪神水道企業団 広報戦略 ～知ってほしい。はんすいのこと。～【概要版】

広報戦略の必要性

阪神水道企業団（以下「企業団」という。）は、2018年3月に「水道用水供給ビジョン2017」を策定し、「安全な水の安定供給の持続」という基本理念の下、水道用水供給事業の運営を進めているところです。

阪神地域全体を俯瞰（ふかん）して地域の水道事業の最適化を図るためには、現状認識と将来見通しの共有が必要であり、そのためにも企業団の施設や経営状況及びその見通し等の情報発信を進めていく必要があります。

企業団の現状や取組、技術力等を広く周知し、阪神地域の水道事業のより良い事業運営につなげていくため、「情報の見える化」に努めるとともに情報発信を一層強める必要があると考えています。

これまでの広報活動

＜これまでの取組＞

- ① ウェブサイトによる情報発信
- ② 紙媒体による情報提供
- ③ イベントによる広報活動
- ④ 施設見学の実施
- ⑤ 阪神間水道事業体広報連携企画（カーナ（KAHNAT））による構成市と連携した広報活動の実施



パンフレット類



小学校浄水場見学



尼崎浄水場特別開放イベント



マスコットキャラクター

◇水道用水供給ビジョン2017

◇経営戦略2020に掲げる推進施策（アクションプラン）

＜ビジョン＞経営方針4：阪神地域の水道のより良い姿を追求していきます。

- ① 構成市水道部局との連携強化
⇒企業団と構成市とで連携した水道事業の広報・PR活動の実施
- ⑤ 情報の収集及び発信
⇒【広報戦略の策定】企業団の認知度の向上

広報戦略

～知ってほしい。はんすいのこと。～

認知度の向上を図り、水道利用者から理解、信頼を得ることを目指します。

構成市及び
水道事業体

水道利用者

職員

① 企業団の認知度、理解度の向上

- ・ウェブサイトのリニューアル
- ・「-経営レポート-」の活用
- ・尼崎浄水場イベントの実施

② 構成市と連携した広報

- ・構成市主催のイベント、出前講座への参加
- ・構成市の広報紙への掲載

企業団の見える化
（方針）

③ 危機管理に関する情報発信

- ・ウェブサイトの活用（訓練・耐震化情報の掲載）
- ・災害や事故時の情報発信

④ 職員との情報共有

- ・企業団グループウェアの充実
- ・職員が「広報パーソン」としてイベントに参加